



令和4年の終わりに



コロナ禍の生活の中、緩和の報道も流れ始めた矢先の第8波の感染拡大。コロナ禍3年目の令和4年も終わろうとしています。

この1年間、感染拡大防止の対策を講じながら学校行事などできることを行ってきました。

体験を通して、今後の子ども達にとって必要になるであろう『自分から考えて行動できる姿』といった資質の育成を考えているからです。

運動会、歌声集会、宿泊行事などの校外学習、異年齢集団でのにじいる活動など、大きな事故もなく新型コロナウイルス感染症が拡大せずに済んだことは、子ども達だけでなく保護者のみなさま、地域の方々のご協力によるものであると実感しています。

本当にありがとうございました。

12月9日の保護者全体会でお伝えしたように学校行事とともに『自分から考えて行動できる姿』といった資質を育てるために生活科・総合的な学習を推進しています。身近にある課題を自分ごととしてとらえ、協働して解決策を考えていくのです。発達段階に応じて学習を進めながら、下記のような①目標を達成するためのスキル②そのために他者と協働するスキル③そして自分の感情をコントロールできる土台を育てていくことをねらいとしています。

詳しい取組については、本校HPの学校の様子や裏面を参照ください。

①目標の達成：目標を達成するための力

- ・(忍耐力) 自分の欲求や衝動を我慢できる力
- ・(自己抑制) 自分の感情や行動をコントロールできる力
- ・(目標への情熱) 目標達成に向かうための情熱や意欲

②他者との協働：他者と協働するための力

- ・(社交性) 他者と友好関係を結べる力
- ・(敬意) 他者を敬うことのできる力
- ・(思いやり) 他者を共感的におもんばかることのできる力

③情動の制御：自分の感情をポジティブにコントロールできる力

- ・(自尊心) 自分自身を肯定的に見つめられる力
- ・(楽観性) 様々なことを楽観的にとらえられる力
- ・(自信) 自分の資質や能力を信じることのできる力

出典 非認知能力が子どもを伸ばす 中山芳一著

もう一つ、冬休みにお子さんと再度確認してほしいことがあります。それは、タブレットを含む、SNS、ゲーム機などのICT機器の使い方についてです。

昨年度の学校だよりでもお知らせしたように最近の小学生のスマートフォンの所持率は年々増えているのを感じます。それに伴い、ネットトラブル、生活習慣の不規則化など今までは中学生に多かった大きな問題が、小学生でも現れ始めています。

子ども達は、持っていなかったツールへの願望から・みんな持っている・仲間に入れられないなどさまざまな理由で親を説得します。特に年末年始はお願いする理由がたくさんあります。

その弊害として、よくありがちな事例は、購入するとLINEで連絡を取り合うようになります。すると中には、夜遅くでも連絡してくる相手も出てきます。返事をするだけで寝不足になったり、学習も含めた生活時間がなくなったりすることがでてくるのです。つまり、

- 1 安易に unnecessary グループラインやチャットに参加
- 2 保護者の知らないところで遅い時間までの使用
- 3 短い文面で誤解やトラブルが発生
- 4 大きな問題となるまで周囲は気づかない



などという事案が発生しています。

これは、ラインだけに限らず、ゲーム、動画サイト、数多くのSNSにも言えることです。利便性が優先され、ハードルが下がり、報道される事件などにつながる可能性にもつながってきます。限りなくゲームやSNSに依存し、やらなければならないことが後回しになります。トラブルにもつながることになりかねません。学校にも隠れて持ってくる事案もみられました。学力にとっても大きな妨げになっていることは言うまでもありません。あ

このゲームやSNS学校で情報モラルについての学習は行っていますが、起こってしまったトラブルへの対応は学校では難しいのです。

スマートフォン・ゲームなどICT機器を与える保護者の責任として、ぜひこの休みに使い方のルールと管理を再度確認してほしいと思います。

子ども達は、人が持っていないもの、人より扱い方を知っているという人より優位であるという承認欲求を簡単に満たすために上記のような悪循環にはまってしまうことはありがちです。そうすると睡眠などの生理的欲求は阻害され、一番大切な学力や自分から考えて行動できる力など自己実現欲求に届かないということはよくあることなのです。

先日の家庭教育講演会の手紙でお知らせしたように、そんなネット社会の状況が子ども達の脳に与える影響についてを、東北大学教授、川島隆太先生にわかりやすくお話していただきます。小学生、中学生での子育てのヒントになることが多いと思います。また、高学年の子ども達にも聞いてほしい内容だと思います。

メールでもお知らせしたように×切を2月3日(金)まで延ばしましたので、ぜひご参加ください。申込用紙を担任まで提出ください。

いよいよ子ども達が楽しみにしている冬休みが始まります。年末年始はあわただしい中でも、さまざまな行事があります。この時期だからこそ経験できることをたくさん子ども達に体験させ、有意義な冬休みを過ごしてほしいと思います。

令和4年、保護者のみなさま、地域のみなさまのご理解ご協力を職員一同感謝申し上げます。ありがとうございました。

良いお年をお迎えください。

裏面もあります

おめでとう！ 🎄👶👶👶👶👶👶👶👶👶👶👶👶👶👶👶👶

1 健歯審査会

○優秀賞 6年生 さん さん さん さん

2 JA 農協千葉県小中学生「書写」「交通安全ポスター」コンクール

○「条幅」の部 金賞 3年生 さん
 銅賞 2年生 さん

3 ことども県展

○特選 6年 さん
○学校賞 相模台小学校



ホームページから

11/17 4年生松戸駅探検



4年生は総合的な学習の時間の「いっしょに作ろう！みんなが使える相模台」で誰にとっても優しい街になるよう住み

やすいポイントや改善点を話し合っています。

2学期に入ってから継続している福祉教育の一環です。今日は松戸駅周辺のフィールドワークに出かけました。

- ・階段の間にも点字ブロックがあって優しい・こうれいしゃやしょうがいしゃのマークがある。
- ・缶が落ちてた。
- ・落葉を集めている人やそうじをしている人がいた。
- ・オートバイがとまってくれた。 などなど。

これからグループに分かれてまとめたり、誰にどのように伝えていくのかを考えたりしていくのでしょ。少しでも主体的な姿が見られるような取組にしていきたいのです。

楽しみだね！4年生!!

11/24 5年生「めざせ、食べ残しゼロ！プロジェクト」

最近給食の食べ残し（残さい）が多いのです。なので、5年生は11月の第1週に栄養士の高橋先生から食育についての授業を行いました。

その時期の1日の食べ残しは全校で42Kgにもなったんだそうです。同じ重さを持ってみて残さいの量を実感しました。5年生が自分たちなりに考え、今まで取り組んだことで食べ残しも少なくなってきました。今後のプロジェクトの進み具合もわかるようにまとめていきます。



また、栄養士の高橋先生や調理員さんにインタビューしたことで今週からお昼の放送で全校にも呼び掛ける取組を各クラスごとに行うことにしたのだそうです。

高橋先生も1Fの給食室の前にも食べ残しの実態を掲示してくださいました。ちょっと意識したことがSDGsの「食料の安定確保」につながることに気づいてほしいと思っているのです。

9/27 6年生まちづくり課最終提案！

総合学習の一環として9/8に相模台小まちづくり課が発足し、松戸市役所の方に新拠点ゾーンの整備の方針をうかがいました。この機会に松戸のよさって何だろうと6年生も改めて考える活動となりました。



地区ごとの特徴を、①商業②水③歴史と文化④公園と緑⑤住宅と分析し、21日にグループごとにフィールドワークを行いました。



公園緑地課の方や千葉大の園芸学部の方々などの力を借りながら、大人になっても魅力ある街並みにするためにフィールドワークで考えたことを発表しました。

にぎやかで楽しく安全安心な公園にしたい、とか気さくなお店屋さんがたくさんあるのでスタンプラリーをしたらどうか、とか水辺は暗いのをいかして灯籠流しなど春夏秋冬のイベントを行いたい、中央公園に遊具を移設して相模台公園をにぎやかな広場にしたいなどの意見を数多くプレゼンしていました。

自分なりの考えをまとめる機会になりました！
いいぞ6年生！

